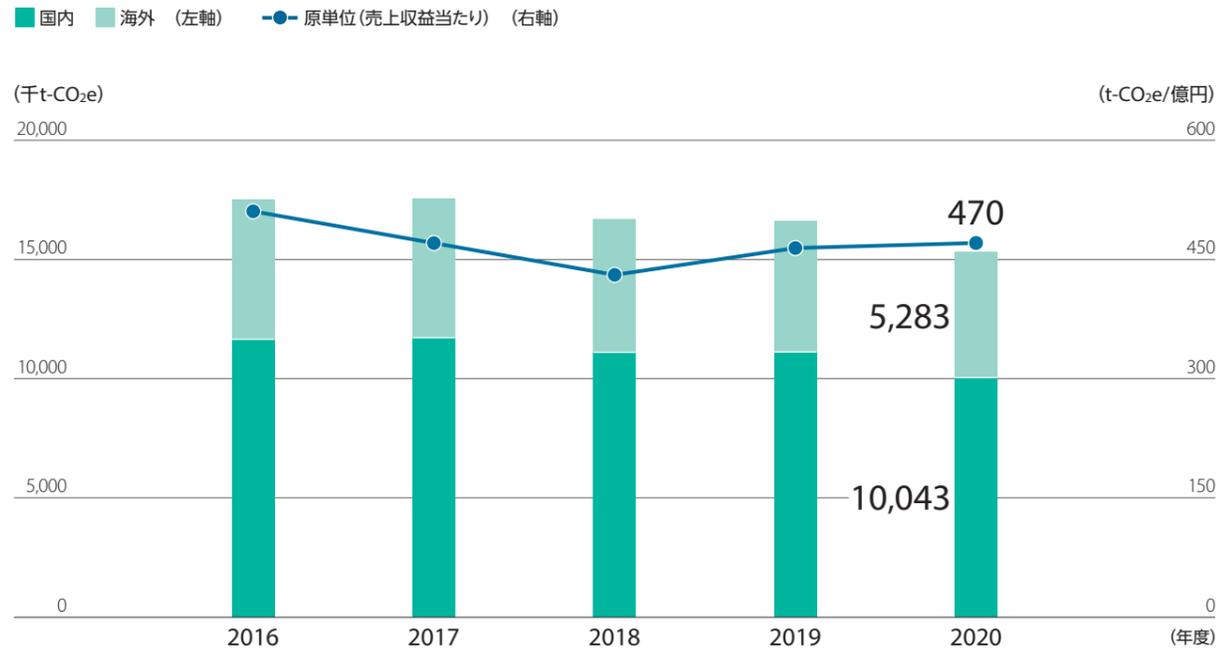


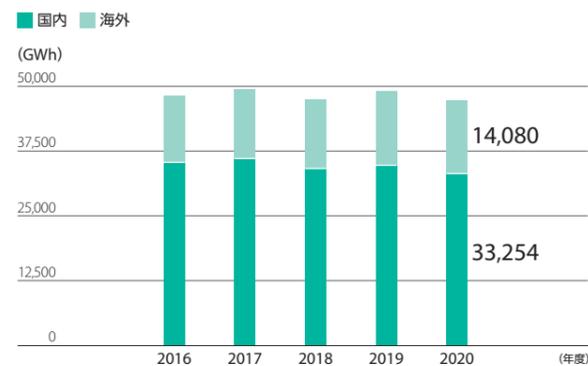
非財務指標

温室効果ガス(GHG)排出量※1



2020年度のGHG排出量(Scope1+Scope2)は15,325千t-CO₂eとなりました。総排出量については大型製造プラントの定期修理やGHG排出量が多いプラントの停止などにより前年度比7.8%の減少となっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり原単位はほぼ横ばいの470t-CO₂e/億円となりました。中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30 (KV30)」では、GHG低減を重要な社会課題の一つと位置付けており、製品・サービスを通じた排出削減貢献に加え、自社における生産等の事業活動におけるGHG排出量の低減も今後一層の加速をするべく検討・取り組みを進めています。

エネルギー消費量※1

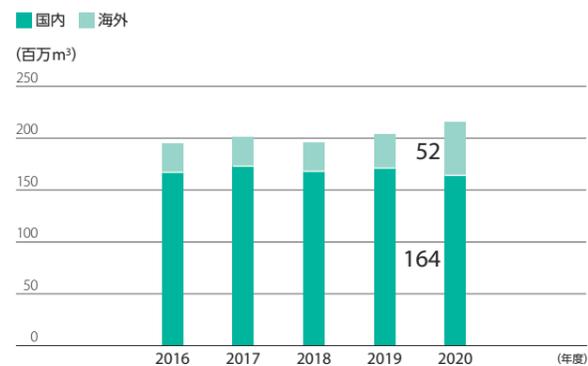


2020年度は日本国内の大型プラントの定期修理やエネルギーを多く使用するプラントの停止などでエネルギー消費量が減りました。

省エネルギー活動の推進、プロセスの安定稼働などを通じた生産効率向上は、そのままGHG低減につながることから、KV30実現のための重要な取り組みと位置付け、引き続きエネルギー使用量の低減に取り組んでいきます。

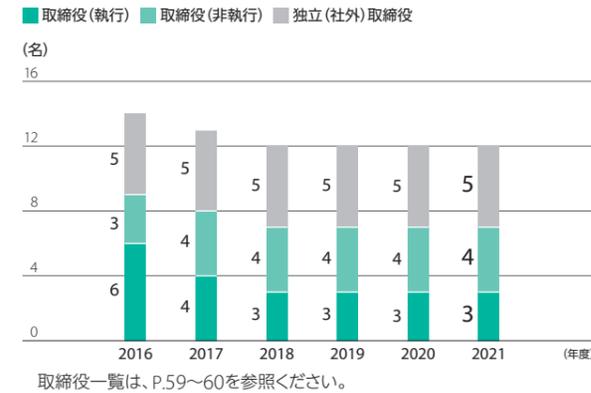
※1 2019年度データ以降はKV30の活動範囲に合わせ見直したバウンダリに基づき集計しています。グラフに表示している2018年度以前のデータは見直したバウンダリのもとで再集計しています。2019年度以降は見直したバウンダリに基づき集計した値を対象に第三者保証を受けています。

取水量(海水含まず)



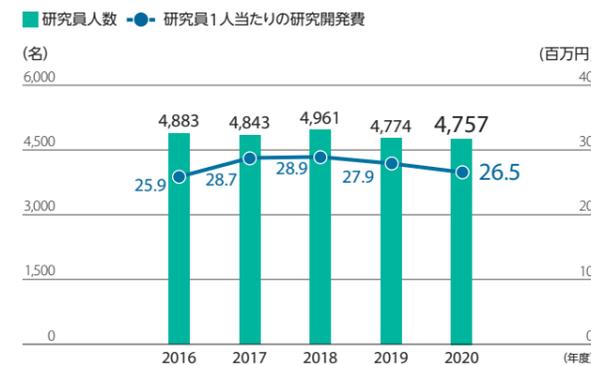
2020年度は海外のグループ会社において、2019年度に見直したバウンダリに新たに加わった拠点があつたため、全体的に増加しましたが、国内では水の効率的な利用により取水量は前年度比7百万m³減となりました。KV30では、グローバルな水供給の不安解消を重要な社会課題の一つと位置付けており、自社の水資源の活用が地域の大きな負荷とならないよう、引き続き水資源の有効利用、取水量削減の取り組みを推進してまいります。

取締役人数・社外取締役人数



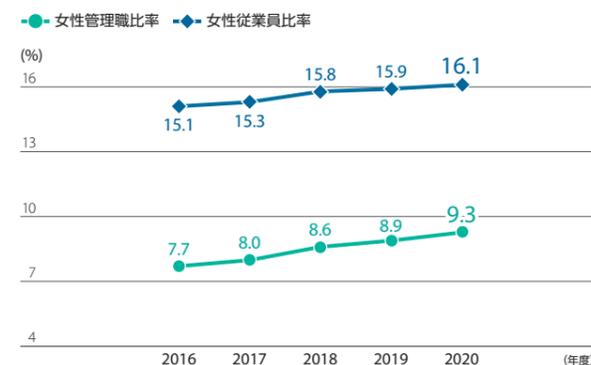
取締役一覧は、P.59～60を参照ください。

研究員人数・研究員1人当たりの研究開発費



2020年度の研究員人数は前年度比17名減の4,757名、1人当たりの研究開発費は26.5百万円となりました。

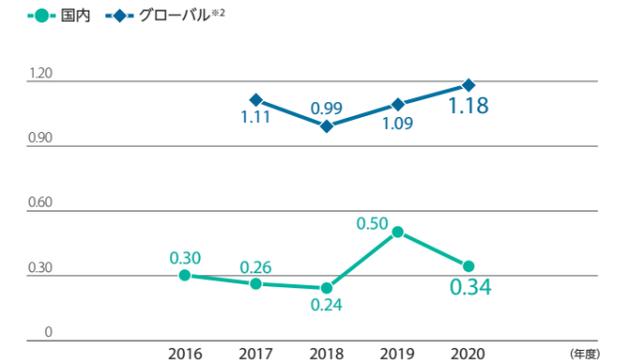
女性従業員比率・女性管理職比率※2



女性従業員比率は、前年度比0.2ポイント上昇の16.1%、女性管理職比率は前年度比0.4ポイント上昇の9.3%となりました。女性活躍推進に向け諸施策を推進しています。

※2 集計対象範囲はP.103を参照ください。

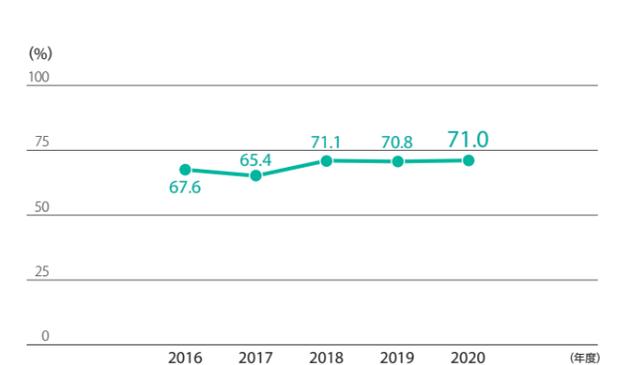
休業度数率



日本国内の休業度数率は0.34となり、前年度より改善しました。一方、2017年度よりデータの取得・算定を始めたグローバルでは、日本国内に比べ、休業度数率が高い水準にあります。安全の基本行動や基本操作の徹底、リスクアセスメントなどの諸施策により、労働災害の防止に向けた取り組みを強化し、休業度数率の改善に努めていきます。

※2 集計対象範囲はP.103を参照ください。

有給休暇取得率※2



有給休暇取得率は、前年度並みとなりました。ニューノーマル時代の働き方を見据えた業務改革に取り組み、引き続きワーク・ライフ・バランスの施策を強化してまいります。

※2 集計対象範囲はP.103を参照ください。